

○ 予算決算委員長報告

予算決算委員会委員長 東 谷 伸 治

予算決算委員長報告を申し上げます。

今期定例会で当委員会に付託されました議案は、「議案第87号 平成27年度鳴門市一般会計補正予算（第3号）」であります。当委員会は、11月30日及び12月9日の2日間にわたり委員会を開催し、慎重審査いたしました結果、議案第87号については原案のとおり可決すべきと決しました。

以下、審査の概要について御報告申し上げます。

「議案第87号 平成27年度鳴門市一般会計補正予算（第3号）」であります
が、鳴門わかめ加工業者による食品表示偽装に伴う、ブランドの信頼回復や、ふるさと納税の寄附件数の増加などへ対応するため所要の補正を行うものでした。

委員からは、歳入のふるさと納税寄附金及び歳出のふるさと納税寄附金推進事業費について質疑がありました。

理事者からは、11月末時点で寄附件数が約1千件で寄附金額としては1千664万4千円をいただいております、12月から年度末までの4ヶ月間で、900件程度の寄附件数と1千200万円の寄附金額を見込んでおり、歳出については、寄附件数の増加による記念品等に要する費用であるとの説明を受けました。

寄附いただいた方に感謝の意を表すことは大切だが、全国的に過剰サービス化している。ふるさと納税とは、鳴門をふるさとと思って寄附していただくものであり、趣旨を外さないように事業を実施して欲しいとの要望がありました。

また、委員からは地場産品振興対策事業費について質疑がありました。

理事者からは、市内事業者による食品表示偽装を受け、緊急的に市として行う追加的な事業であり、ワカメの科学的産地判別分析の検体数を増やすためなどの費用との説明を受けました。

また、委員からは、観光振興費の事業内容及び今後の方針について質疑がありました。

理事者からは、来年の夏に向けて観光業者・観光旅行者等へのキャンペーンを実施するための費用であり、今期定例会に補正予算として計上した理由としては、旅行会社に夏の商品に本市への観光を組み込んでもらうため、2月までに事業を実施する必要がある、今後とも早期に計画が立てられるものについては、補正予算等で柔軟に対応していきたいとの説明を受けました。

また、委員からは、沿岸漁業等振興事業費の事業内容及び今後の方針について質疑がありました。理事者からは、「JF北灘さかな市」の増築工事を実施するため北灘漁協へ補助金を支出するものであり、全体事業費683万155円のうち補助金が318万7千円で北灘漁協の負担は364万3千155円となっている。また、10月10日に大浦漁港が、「海の駅」に認定され、漁港に併設の「JF北灘さかな市」もリニューアルオープンしたことにともない、有望な集客施設となり北灘町の活性化につながればと考えているとの説明を受けました。施設に近い駐車場の駐車スペースが少なく、他の駐車場は遠い場所にあることから、継続的に周辺の土地を有効的に活用できるような計画を検討して欲しいとの要望がありました。

委員会では採決の結果、全会一致で原案を了としました。

以上が当委員会の審査概要であります。よろしく御賛同賜りますようお願い申し上げます。